



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名 ホクト株式会社  
コード番号 1379 URL <http://www.hokto-kinoko.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 雅義

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高藤 富夫

TEL 026-259-5955

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	10,066	△1.5	△788	—	△892	—	△938	—
24年3月期第1四半期	10,223	△3.0	124	△87.2	35	△95.2	△147	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △935百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △149百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△28.41	—
24年3月期第1四半期	△4.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年3月期第1四半期	67,368		44,507		66.0	
24年3月期	66,783		46,984		70.3	

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 44,433百万円 24年3月期 46,921百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	47.00	57.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.00	—	47.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,900	10.8	850	△14.0	900	95.6	480	1,095.4	14.39
通期	55,700	8.2	8,300	4.8	8,400	1.5	4,870	10.5	145.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	33,359,040 株	24年3月期	33,359,040 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	337,347 株	24年3月期	336,970 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	33,021,898 株	24年3月期1Q	33,022,404 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかながら景気回復の動きが見られたものの、円高の進行や欧州の金融危機をはじめとする海外景気の下振れリスク、電力供給の制約に対する懸念など、依然として先行き不透明な状況で推移しております。また、個人消費につきましては、緩やかながら回復してきているものの、企業間競争の激化や生活防衛意識の高まりによる節約志向などから、厳しい状況で推移しております。

このような経済環境の中、当社グループは製品の安全性に万全の体制で臨むとともに、各事業におきまして収益の拡大に努めてまいりました。当社グループの中核を占めますきのこ事業におきましては、前期に新設いたしました佐久第二きのこセンターが通年の出荷となったことや、海外子会社のHOKTO KINOKO COMPANY及び台湾北斗生技股份有限公司が稼働率を高めたことなどにより、生産量は増加いたしました。しかしながら消費者の生活防衛意識の高まりから、全般的に野菜価格が振るわず、きのこ単価も引きずられる形で低調に推移し、売上高は計画を下回る状況となりました。また、化成品事業におきましては、包装資材部門を中心に新規開拓を積極的に行った結果、ほぼ計画通り推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は100億66百万円（前年同四半期比1.5%減）、営業損失7億88百万円（同営業利益金額1億24百万円）経常損失8億92百万円（同経常利益金額35百万円）、四半期純損失9億38百万円（同四半期純損失金額1億47百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### [きのこ事業]

きのこ事業におきましては、生産の拡大と品質の向上、販売の強化を中心に業績の拡大に努めてまいりました。生産部門におきましては、昨年より生産を開始いたしました佐久第二きのこセンターが通年の出荷となったことや、子会社である米国のHOKTO KINOKO COMPANY及び台湾の台湾北斗生技股份有限公司におきまして稼働率を高めたことから、生産量が増加いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間の生産量は、ブナピーを含めブナシメジが10,246 t（同9.1%増）、エリンギ4,756 t（同19.1%増）、マイタケ2,724 t（同7.1%増）となり、ほぼ計画通り推移してまいりました。しかしながら販売面におきましては、全般的な野菜価格の低迷によりきのこ単価が振るわなかったことや、食の安全・安心に対する不安感、消費者の生活防衛意識や節約志向などにより、売上高は計画を下回ることとなりました。

以上の結果、きのこ事業全体の売上高は78億90百万円（同2.8%減）となりました。

#### [化成品事業]

化成品事業におきましては、原油価格の高止まりなどにより、厳しい販売環境が続いております。そのような環境の中、包装資材部門を中心とした新規開拓の強化や既存取引先へのきめ細やかな営業を展開し、販売を拡大してきたことから、ほぼ計画どおり推移いたしました。以上の結果、当事業の売上高は21億76百万円（同3.2%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における資産、負債、純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## ①資産の部

資産の部は、673億68百万円となり、前連結会計年度末より5億84百万円増加いたしました。流動資産は159億80百万円となり前連結会計年度末より3億27百万円の増加となりました。これは主に商品及び製品3億77百万円の増加によるものであります。固定資産は513億87百万円となり、前連結会計年度末より2億57百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産4億74百万円の増加によるものであります。

## ②負債の部

負債の部は、228億61百万円となり、前連結会計年度末より30億62百万円増加いたしました。流動負債は193億3百万円となり前連結会計年度末より34億6百万円の増加となりました。これは主に短期借入金50億円の増加と未払法人税等29億81百万円の減少によるものであります。固定負債は35億57百万円となり、前連結会計年度末より3億44百万円の減少となりました。これは主に長期借入金4億20百万円の減少によるものであります。

## ③純資産の部

純資産の部は445億7百万円となり、前連結会計年度末より24億77百万円の減少となりました。これは主に配当金の支払による利益剰余金15億52百万円の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、世界的な経済情勢や震災の影響等から当面の国内景気が回復感に乏しい状況で推移しており、個人消費の回復も停滞基調となっていること、きのこ市場が暖冬などの天候要因や市場環境に影響されるなど通期の見通しに対し不透明な要因もあることから、平成24年5月17日公表の通期業績予想を据え置くことといたしました。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)  
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。  
この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,531	6,670
受取手形及び売掛金	4,166	3,679
商品及び製品	1,123	1,500
仕掛品	2,735	2,785
原材料及び貯蔵品	424	361
その他	692	1,003
貸倒引当金	△19	△19
流動資産合計	15,653	15,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,259	41,349
減価償却累計額	△16,000	△16,290
建物及び構築物 (純額)	24,258	25,058
機械装置及び運搬具	20,977	21,618
減価償却累計額	△12,393	△12,851
機械装置及び運搬具 (純額)	8,583	8,767
土地	11,300	11,202
その他	2,945	2,558
減価償却累計額	△1,168	△1,191
その他 (純額)	1,777	1,366
有形固定資産合計	45,920	46,394
無形固定資産	326	312
投資その他の資産	4,883	4,680
固定資産合計	51,129	51,387
資産合計	66,783	67,368
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,313	4,507
短期借入金	4,000	9,000
未払法人税等	3,062	81
引当金	777	425
その他	3,743	5,289
流動負債合計	15,897	19,303
固定負債		
長期借入金	3,753	3,332
引当金	7	7
資産除去債務	46	122
その他	93	93
固定負債合計	3,901	3,557
負債合計	19,798	22,861

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,692	5,692
利益剰余金	37,072	34,582
自己株式	△716	△717
株主資本合計	47,548	45,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63	△24
為替換算調整勘定	△563	△599
その他の包括利益累計額合計	△626	△623
新株予約権	63	73
純資産合計	46,984	44,507
負債純資産合計	66,783	67,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	10,223	10,066
売上原価	7,662	8,197
売上総利益	2,560	1,868
販売費及び一般管理費		
販売手数料	670	674
運搬費	651	689
賞与引当金繰入額	53	53
その他	1,060	1,238
販売費及び一般管理費合計	2,436	2,657
営業利益又は営業損失(△)	124	△788
営業外収益		
受取配当金	33	36
受取地代家賃	44	48
助成金収入	12	29
その他	24	14
営業外収益合計	114	127
営業外費用		
支払利息	15	19
為替差損	188	210
その他	—	1
営業外費用合計	204	231
経常利益又は経常損失(△)	35	△892
特別利益		
受取保険金	—	2
その他	—	0
特別利益合計	—	2
特別損失		
投資有価証券評価損	8	342
災害による損失	99	—
その他	0	42
特別損失合計	107	385
税金等調整前四半期純損失(△)	△72	△1,276
法人税、住民税及び事業税	86	94
法人税等調整額	△11	△432
法人税等合計	74	△338
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△147	△938
四半期純損失(△)	△147	△938



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△147	△938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	39
為替換算調整勘定	30	△36
その他の包括利益合計	△2	2
四半期包括利益	△149	△935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△149	△935
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項ありません。